

ごーがい！
ごーがい！



7月5日に口神ノ川小学校、6日に家地川小学校で、それぞれ七夕を通じて児童と高齢者の世代間交流が行われました。

両小学校では、例年高齢者との七夕集会を行っており、七夕の風習についてや、締め縄に飾るワラで作成した馬・ほうずきなどを飾る理由など、高齢者の方の説明を受けました。

さらに、家地川小学校では、金宣廷さんが韓国語での「きらきら星」を教えてくれました。

また、高齢者の方が七夕の話や紙芝居をすると、児童たちはお礼に歌や合奏を披露するなど、楽しい七夕となりました。



七夕で世代間交流

四万十町シルバー大学開校式

6月27日に農村環境改善センターにおきまして、今年度のシルバー大学が開校しました。開会行事後、疋田善平先生（くばかわ病院・地域ケア科）が記念講演をくださり、大変有意義な開校式となりました。

この事業は、高齢者のみなさんの生きがいと健康づくりを推進し、皆さんの持つ優れた知識や経験を活かして積極的に社会参加していただき、さらに学習を深めていただくという主旨で実施いたしております。

おおむね60歳以上の学習意欲のある方なら、どなたでも入学いただけます。

●お問い合わせ
四万十町教育委員会 生涯学習課
☎22・3576



道の駅「四万十とおわ」オープン

去る7月1日午前9時道の駅「四万十とおわ」が、十和川口に正式に開業しました。高知県下では21番目の道の駅になります。

当日は、地紅茶や味噌豆腐、川エビコロッケなどの特産品を求めて町内外から約6,000人の人が詰めかけ、開店とともに物産館は大混雑。レストランも1時間待ちの状態となり、大盛況のうちに開業初日を終えました。営業時間は、直販施設「とおわ市場」が午前



7時30分から午後6時、レストラン「とおわ食堂」は、当初の営業時間を変更して午前9時から午後8時（但し、午前9時～11時は喫茶のみ、午後4時～5時の間は閉店）となっています。

従業員一同、まだまだ不慣れでサービスが不十分な点もあるかと思いますが、是非一度ご家族、ご近所をお誘い合わせてお越し下さい。



お年寄りって大変！

先月、昭和小学校において「高齢者疑似体験」を行いました。耳栓や特殊めがね、手足の重りを身につけることで、お年寄りの身体機能低下や心理的変化を擬似的に体験することが出来ます。階段の上がり降り、買い物をする、食事をする、字を書く等の動作の不便さを体感することで、お年寄りにやさしい環境・社会づくりに役立ててほしいと思います。

あなたの学校・団体でも「高齢者疑似体験」をしてみませんか？

（連絡先） ●四万十町地域包括支援センター

☎22・3385

●しまんと町社会福祉協議会

☎22・1195



news